

プロジェクト 次世代につなぐ酪農産地づくり

目 標

・青森県の生乳生産量 R4：76,000 t → R10：76,000 t

挑戦する内容

- ・乳用牛1頭当たりの生産性向上に向けた遺伝的能力の把握
- ・乳用後継牛の効率的な生産の推進
- ・省力化機械などの積極的な導入による効率的な経営の確立
- ・自給飼料の積極的利用による高品質で低コストな生乳生産
- ・経営継承を含む担い手の確保

関係者の声
＝対話

- ・乳用牛の遺伝的能力を把握したい（生産者）
- ・様々なデータの活用方法を指導してほしい（生産者）

役割分担

- ・農協 : 飼料販売、飼育管理指導
- ・牛乳冷却処理所 : 衛生管理指導
- ・産技センター : 乳用牛群検定に基づく飼育管理指導
- ・県、市町村 : 酪農家への飼育管理指導

変革後の姿

- ・酪農家個々の生乳生産基盤が強化されることにより、経営が安定
- ・輸入飼料や資材の価格高騰などに左右されない、ゆとりある酪農産地が形成

令和7年度計画

挑戦する内容

- 1 乳用牛1頭当たりの生産性向上に向けた遺伝的能力の把握
 - ・農家が行うゲノミック解析を支援するとともに、県内牛群の遺伝的能力評価値の把握
- 2 乳用後継牛の効率的な生産の推進
 - ・農家が行う性選別精液活用を支援し、効率的に後継牛を生産
- 3 省力化機械などの積極的な導入による効率的な経営の確立
 - ・国の事業を活用した導入支援の実施
- 4 自給飼料の積極的利用による高品質で低コストな生乳生産
 - ・経営改善モデルを活用した巡回指導の実施
 - ・生産性の向上を図るための飼養管理技術研修会の開催
 - ・県職員等向けの指導力強化研修会の開催
- 5 経営継承を含む担い手の確保
 - ・新規就農希望者の掘り起こしと受入体制の整備
 - ・将来の畜産人材に対する現場見学研修の開催



飼養管理技術研修会の開催



現場見学研修の開催

対話

- ・部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（7月、1月）
- ・巡回指導や研修会を通して、生産現場の技術的課題等について生産者と意見交換を実施
- ・指導力強化研修会の際に、農協や畜産協会、畜産研究所も参加した意見交換の場を設定（5月、10月）
- ・畜産現場研修会において、参加した高校生や高校教諭との意見交換を実施（6月、11月）